

平成29年10月22・23日 台風21号による出水状況(速報)

～河道拡幅・大川ダムにより下流の水位低下の効果を発揮～



【10月23日 9時40分時点】

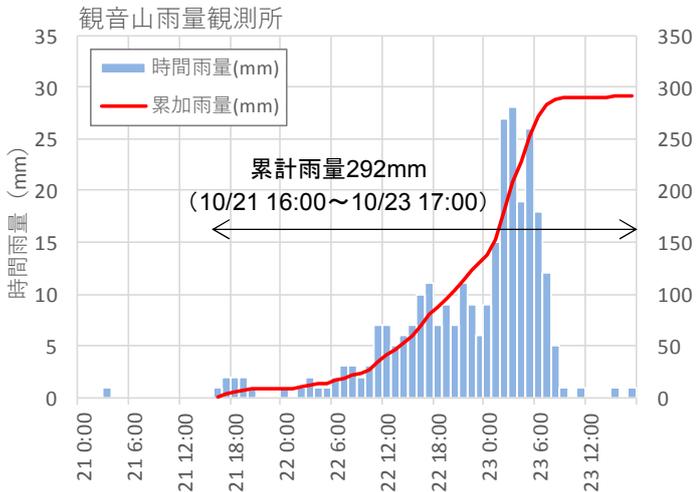
平成29年10月30日
国土交通省北陸地方整備局
阿賀川河川事務所

【お問い合わせ先】 国土交通省 北陸地方整備局 阿賀川河川事務所電話 0242-26-6441

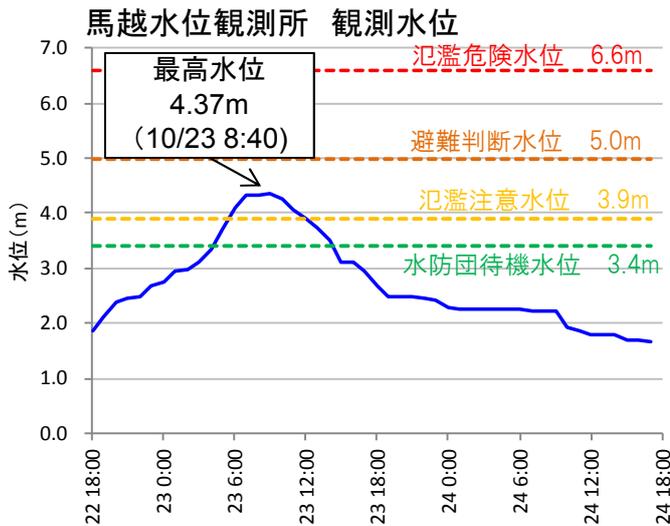
副所長 鈴木 忠彦 (内線 204)
工務課長 原 俊彦 (内線 311)
管理課長 乙川 昌也 (内線 331)

平成29年10月23日 台風21号による出水状況（阿賀川） ※速報

- 台風21号の影響により、**阿賀野川水系阿賀川では、記録的な豪雨**となりました（阿賀川の観音山雨量観測所では、10月21日16時～23日17時にかけて累計雨量292mm(時間最大28mm)を観測）。
- 阿賀川では、**馬越水位観測所で氾濫注意水位を超過**し、観測史上5番目となる最高水位4.37mを記録しましたが、上流の**大川ダムの洪水調節により、水位上昇を抑え**、被害軽減に努めました。



阿賀野川水系流域図



大川ダム洪水調節状況(10月23日6:46頃)



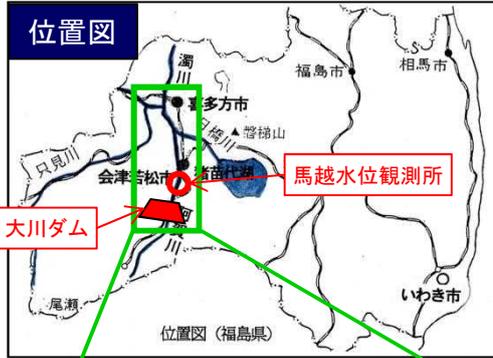
会津美里町大石地区の排水作業 (10月23日12時頃)



蟹川橋(会津若松市神指町南四合地先)出水状況 (10月23日15時頃)

ダムにより下流の水位低下効果を発揮（福島県 大川ダム）（国管理）

- 平成29年10月22日からの台風21号による記録的な豪雨では、**阿賀野川水系大川ダム**で洪水調節を実施し、**最大流入量が約1,362m³/s（ダム管理開始以降第5位）**に達した際には、下流に流す流量を最大約300m³/s（約2割）低減しました。
- 下流の馬越水位観測所地点では、ダムが無い場合と比べて、**約40cmの水位低下効果を発揮**し、氾濫被害の防止を図りました。



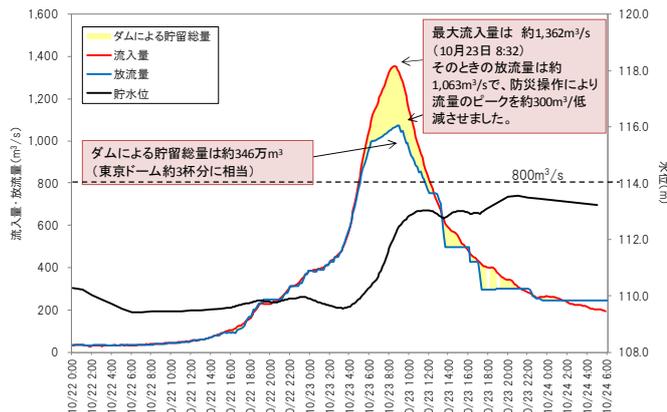
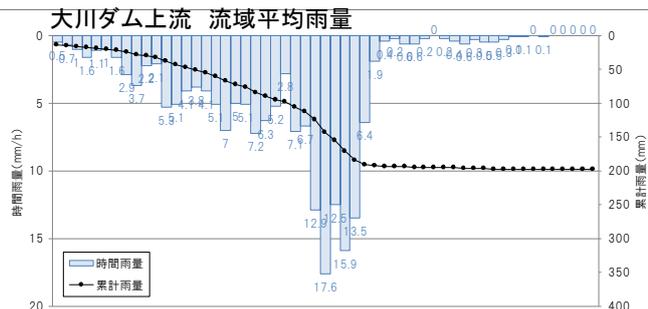
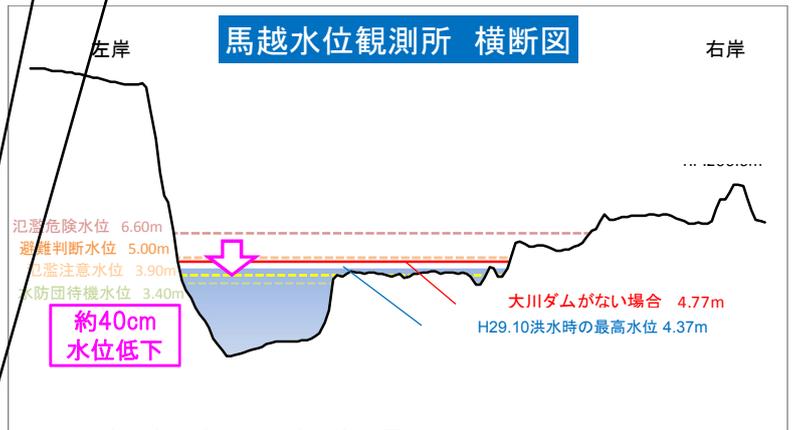
背後には、会津若松市街地があり、氾濫した場合、甚大な被害となるおそれ



馬越頭首工(馬越水位観測所上流) 出水状況 (10月23日11時頃)



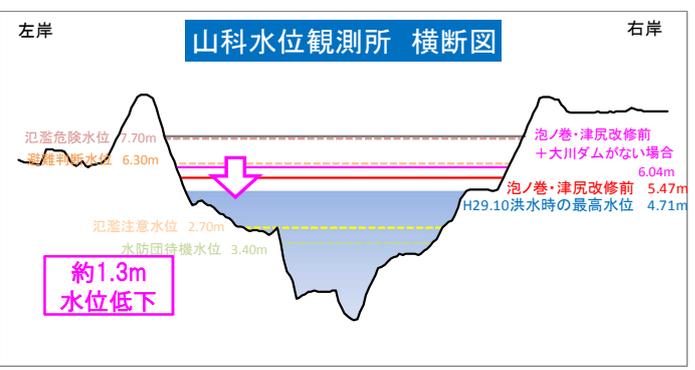
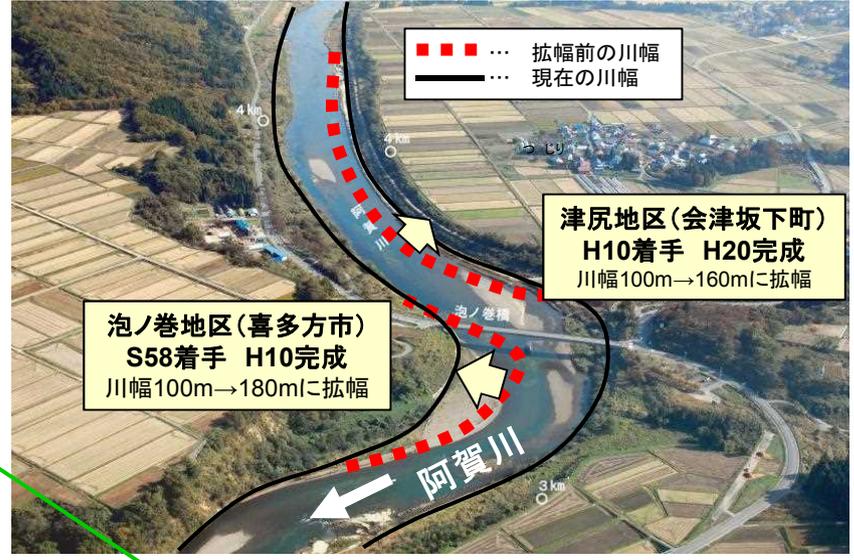
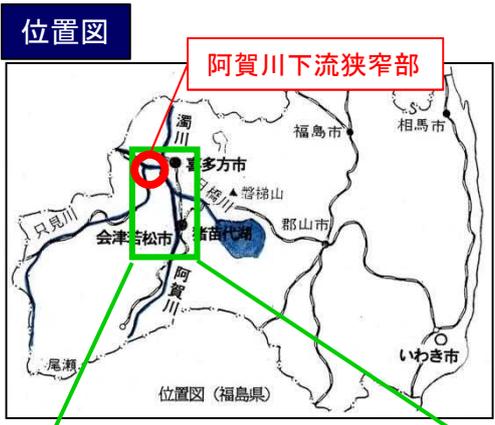
←大川ダム貯留状況 (10月23日8:32頃)



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

狭窄部の拡幅が水位低下効果を発揮（福島県 阿賀川）（国管理）

- 福島県の阿賀川上流域では記録的な豪雨となり、阿賀川の山科・宮古・馬越水位観測所では、氾濫注意水位を超過しました。
- これまで、阿賀川では、昭和57年、平成14年等の洪水を契機に、**下流の狭窄部で断面の拡幅**を進めており、泡ノ巻地区、津尻地区の順に拡幅を完了しました（平成21年度より長井地区で拡幅を実施中）。これにより、喜多方市および会津坂下町の洪水時の水位低減が図られました。
- 平成29年10月洪水では、山科水位観測所において河道掘削および大川ダムの洪水調節により**約1.3mの水位低下効果を発揮しました。**



山科水位観測所の出水状況 (10月23日11時頃)

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。